

野菜一貫生産を強化！雇用創出！有田農産

2月10日（水）有田農産有限会社が整備を進めてきた農産物集出荷施設・処理加工施設の落成式が行われました。

施設は、集出荷施設が1,614.98㎡、農産物処理加工施設1,287.60㎡の2施設で、生産面積が130haに及ぶ大根やキャベツなどが、畑から直接運びこまれ、洗浄、選別、梱包まで行う一貫生産ラインが完成しました。加工場では、おでん用の大根の型抜きや、キャベツの芯抜きなどを行ない県内外の外食産業へ出荷し、より鮮度を保つために予冷庫や真空予冷設備も新たに導入されました。

操業開始に伴い50人が雇用され、有田通文代表取締役は、「地域の雇用創出を図ると共に、消費者への安心安全の農産物を供給するため、他産業に負けないように農業で地域に貢献できるように努力したい」と話されました。



まち歩きで新発見！～100倍楽しくなる！ふるさとの歩き方～

2月13日（土）、まち歩きの達人である東川隆太郎先生（NPO法人まちづくり地域フォーラム・鹿児島探検の会代表理事）と参加者30名は、まち歩きを行いました。

まち歩きを行ったのは、神領町、町東、町西、宮之馬場、西迫に残るお寺跡や都萬神社などで、かつてこのあたりは、大崎郷の『野町』と呼ばれ、江戸時代から大崎の商業地として栄えていたそうです。

宮之馬場集落内の町道宮之馬場文化通線は、都萬神社の参道であったことは、知られていますが、その道路沿いには、軽石でできた石垣（写真右下）が多く残っています。

東川先生は、「これは江戸時代に作られたものでしょう。軽石でできた石垣は、県内でもここだけでしょう。大変珍しいものを発見しました」と同NPO法人が認定する『世間自然遺産僕立公園』に登録されました。

「近くに住んでいて全く知らなかった。2時間歩いただけなのに、いろいろな発見があって面白い。」という感想もあり参加者は、「まち歩き」の楽しさを感じていました。

